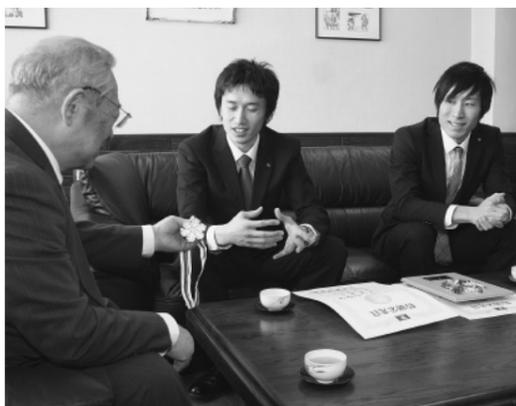


小林、湊両選手に特別栄光賞

北秋田市体育協会スポーツ賞

財団法人北秋田市体育協会(松田光明会長)の平成20年度同協会スポーツ賞の表彰式が3月31日、市役所で行われ、2月に開催された世界選手権において、複合団体の一員として金メダルを獲得した本市阿仁出身の小林範仁さんと湊祐介さんに特別栄光賞が贈られました。表彰式では岸部市長同席のもと、松田会長から小林さんと湊さんに特別栄光賞の賞状と表彰盾が手渡されました。

小林さんは「オリンピックに向けて、できることを確実にこなして、メダルを狙ってきたい」。湊さんは「この結果は世界で戦う自信になってきている。オリンピックで入賞、メダルを狙いたい」と抱負を述べました。



▲岸部市長にノルデックスキー世界選手権の金メダルを見せる小林さんと湊さん

首都圏、東北道で市観光PR

ラッピングバス運行へ

あきた北観光株式会社(平塚千鶴子代表取締役)が新たに購入する車両に、市の観光名勝を車両全面にデザインしたラッピングバスが完成し4月6日、市役所前でお披露目しました。

55人乗りの大型バスには、「世界一の大太鼓」、「花の百名山森吉山」、「森吉山の樹氷」、「日本の滝百選安の滝」など北秋田市の観光名所がデザインされています。

バスは埼玉、千葉など首都圏と鹿角市の間を月4回から8回のペースで運行します。

岸部市長は「動く広告塔のようで、ありがたいこと。これで高速道路を走ると、みんなが振り返るのではないかと述べて、PR効果に期待を寄せました。



▲市の観光名所がデザインされたラッピングバス

マスコットと火災予防啓発

平成21年度春の火災予防運動

北秋田市消防本部は、「春の火災予防運動」初日の4月5日、市内の大型ショッピングセンターの協力により火災予防啓発行事を開催しました。

啓発行事には、県の人気マスコット「スギツチ」と「森つち」も参加。救命士によるAEDの心肺蘇生講習会、はしご車前での記念写真撮影会、煙体験ハウス、住宅火災警報器の設置促進、模擬消火活動体験などを実施しました。体験コーナーでは、万一の場合の対処方法を多くの市民が体験することができました。

記念写真撮影会では、「スギツチ」と「森つち」が大人気。たくさんの家族づれで大盛況となりました。



▲模擬消火活動など、万一の場合の対処方法を体験

大きくなって帰ってきてね

サクラマス稚魚放流式

阿仁川漁業協同組合(松橋憲作代表理事組合長)のサクラマス稚魚放流式が4月21日、米内沢河川公園で行われ、米内沢小学校の児童がたくさんの稚魚を阿仁川に放流しました。

この日は、米内沢小学校3年生26人が放流式に参加。はじめに漁協職員より、サクラマスの生態や放流の目的などの説明を聞き、ひとり一人に5秒から6秒ほどに成長した稚魚をバケツに分けてもらいました。

児童らは、川岸から「大きくなって帰ってきてね」などと声をかけながら、やさしく放流していました。川面に放たれた稚魚は、元気に泳ぎまわり児童たちを楽しませたあと、川岸から離れていきました。



▲サクラマスの稚魚を川面に放流する米内沢小学校の児童

市民総参加で、きれいなまちに

全市一斉に「春のクリーンアップ」

市内の各地区で4月19日早朝、市民総参加によるクリーンアップ活動が行われました。

全市一斉のクリーンアップは、毎年春と秋の2回行われており、春は冬期間に捨てられたごみが雪が消えるとともに目立つようになるこの時期に実施されています。

最近では、地域の美化や環境保護への意識が高まってきているものの、幹線道路沿いや人目につかない所には空き缶やペットボトルなどが多く捨てられています。

この日は、午前6時から地域や自治会単位で、約1時間ほど道路沿いや河川敷、公園などのゴミ拾い、側溝の泥上げ等に汗を流し、まちをきれいにしました。



▲市民総参加で取り組んだ春のクリーンアップ活動

新1年生が元気よく入学

市立15小学校、5中学校で入学式

春うらかな陽気となった4月7日、市内全ての小中学校で入学式が行われ、新しく学校生活をスタートさせる新入生が在校生らに温かく迎えられました。

このうち、鷹巣東小学校(成田葉子校長・児童数113人)には12人が入学。新1年生は、上級生のお兄さんお姉さんたちの持つ花のアーチをくぐって元気よく入場しました。また、氏名点呼では一人ひとりが元気な声で「ハイ!」と手を挙げて返事していました。

市内15校の小学校の入学者は、205人。中学校は5校で294人です。それぞれが、新しい環境で学校生活をスタートしました。



▲氏名点呼では、元気な声で返事をする新1年生(鷹巣東小)